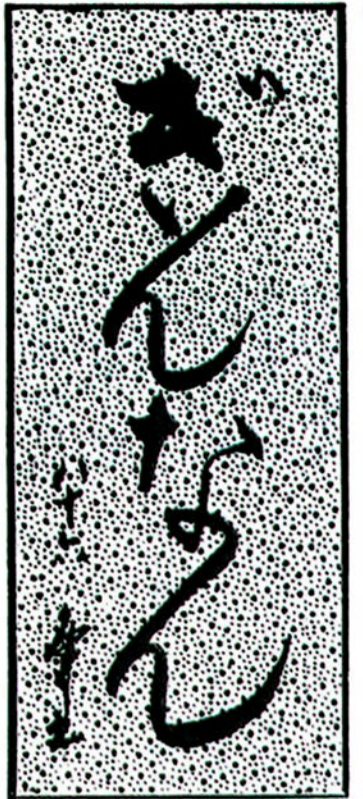


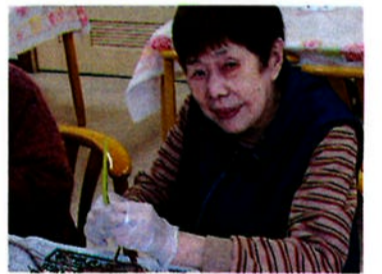


# ステイホーム

延命園の自粛期間



発行所 養護老人ホーム  
延命園  
長崎市寺町3-1  
(095)822-8563  
発行責任者 園長 堤 祐敬  
題字 池田可宵先生



春の恒例行事「つわむき」

姉妹でやすらぎのひとつとき ※写真と内容は関係ありません。

令和という新しい時代を迎え、誰もが輝かしい未来を想像していたことと思います。

年が明け、「新型コロナウイルス」が中国で流行しているニュースをさかんに耳にするようになりました。長崎は、中国人観光客が多い土地柄とあって、他人事とは思えないと感じていました。一月には日本で最初の感染者が発症。

そんな中、長崎では二月上旬から「ランタンフェスティバル」の開催が予定されていた。毎年、街中に飾られているランタンを利用者の方々と見物に行くのが恒例行事でしたが、感染防止の観点から、今回は中止することとなりました。二月下旬には、九州で最初の感染者が発症し、利用者の方々にも外出や面会の中止をお願いし、手洗い励行、園内の消毒を徹底し、感染予防に努めています。

毎日、デイサービスに出かけていたTさんも「ウイルス

は、目に見えないから怖い」と、外出自粛に快く応じて下さいました。Nさんより、

「もともと、ここ(延命園)へ来るのはしづっていたが、住んでいたアパートが取り壊されることになり、仕方なくきた。ここに來てからは毎日デイサービスに通うことが日課だったが、外出自粛の間に、ここでの生活のペースに慣れてきた。皆がぬりえを

しているのを見たり、クイズのプリントを眺めたりしてると1日があつという間に過ぎると感じるようになってきた。今は、悪い病気を持ち込まないように、流行らないようにと朝晩お祈りしている。自粛期間の間延命園での生活に前向きになつてくれたTさんでした。

歌が好きなSさんは、目が見えにくくなり、歌詞が見えないと大好きなカラオケに興じる時間が少なくなつてきていました。延命園では、外出自粛に伴い、利用者

「三蜜」にならない状況に配慮しながら園内でできる趣味活動の時間を増やす取り組みを行っています。その中で、Sさんを誘い出し、見えるように大きく印刷した歌詞カードを準備し、思う存分大好きなカラオケを楽しんでもらう時間を設けました。Sさんは、「久しぶりのカラオケだったので、初めは声が出なかったが、2番、3番と歌ううちに次第に声が出るようになり、とてもすっきりした」と嬉しそうに話して下さいました。続けて、「コロナの影響で外へ出られないけど、室内で楽しめる事を楽しみたい。声を出すと気持ちがスーッとした。カラオケはやっぱり自分の性分に合っている。次は村田英雄を歌いたい。」と、意気込んでおられました。目が見えにくいことを理由に遠のいていた趣味活動に改めて取り組む意欲がでてきた様子です。

また、毎日のように買い物へ出かけていたYさんは、外出できる日をまだかまだかと待ち望んでいます。「早く買い物へ出掛けたいけれど、ウイルスは、目に見えないからね。どこで感染するかわからないし、今が踏ん張り時なんじゃないか。」 買い物が好きなおさんも、「外出できるようになったら商店街を歩きたい。何か買うわけではないが、一軒一軒店を見てまわりたい。」

新型コロナウイルスの影響で、窮屈な生活を強いられている利用者の皆さんですが、それぞれに時間を大切に過ごして下さいます。

私たち、職員もこんなに長く外出自粛をお願いする形になるとは思ってもみませんでした。緊急事態宣言は解除となりましたが、施設の中に、コロナウイルスは絶対には持ち込まないように、予防策を徹底していきたいと思つてます。



おこねんきー

\*おねんきーの思い出\*

今回は皆さんに子供の頃の思い出をお伺いしました。

☆Tさん(九十一歳/昭和四年生)

子供の頃は貧しく食べるものや着る物がいつも一緒でした。米や砂糖も配給で麦を米に混ぜて炊くのがご馳走。お正月には麦を少なくしていました。また、その頃は缶けり、石けり、爪けし、お手玉等をして遊んでいました。

☆Hさん(八十一歳/昭和十三年生)

子供の頃は男の子と一緒にチャンバラや鬼ごっこをしてよく遊んでいました。よく喧嘩したり暴れて回っていました。歌も大好きで美空ひばりの歌をよく歌っていました。

☆Iさん(七十一歳/昭和二三年生)

隣近所に同級生が多く、よく集まって浜辺で缶けり、かくれんぼ等をして暗くなるまで遊んでいました。遊ぶのが楽しみで学校から早く帰っていました。他にも磯に行ったりミナを食べたりしていました。十一歳の時には、隣の家にテレビがあったため、美智子様のパレードを皆で集まり見ていた思い出もあります。

☆Sさん(九十三歳/昭和二年生)

幼少期はメンコやお手玉等で遊んだり、川に泳ぎに行ったりしていました。六、七歳頃、天皇をお祝いする施設に行く時やお祝いごとの時に羽織袴と長袖を着たのをよく覚えていますが、学生時代は隣に住んでいた一つ下の女の子と一緒に女学校に自転車通っていました。

句会の紹介

- 句会の皆さんの作品をご紹介します
こいのぼり 色とりどりに 美しい(和子)
五月晴れ いい湯だな 菖蒲風呂(武)
鯉菓子の 大きさ小ささに、ひと笑い(ミミ)
鯉菓子は 思い出もあり 今日(令)
鯉のぼり 子どもが手をふる 眼鏡橋(カコ)
五月晴れ 団子の葉っぱ 摘みに行く(啓菊)
稲佐山に行き 下って見れば 小きき庭に こひのぼり 泳ぎる(ミーナ)



ご覧ください。決算書

Financial statements including '事業活動収支計算書' and '資金収支計算書' for the fiscal year ending March 31, 2021.

貸借対照表

Balance Sheet (貸借対照表) showing assets and liabilities as of March 31, 2021.

1 減価償却費の累計額 ¥195,893,595
2 繰引不能引当金の額 ¥ 0